

「みどりとふれあうフェスティバル」に出展（オンライン）

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター

例年5月の連休前後の土曜～日曜日に都内の日比谷公園で『森と花の祭典「みどりの感謝祭」』との併催行事として、「みどりとふれあうフェスティバル（主催：農林水産省・林野庁、東京都、（公社）国土緑化推進機構等）」が開催されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して令和3年度はオンライン開催となりました。期間は4月15日～5月14日であり5月8日に予定されていた「みどりの感謝祭式典」も東京都に緊急事態宣言が発令されたこともあり中止となっています。

本イベントは『“森の恵み”と“木の温もり”を五感でふれて、癒やされよう！』をテーマに、毎年「みどりの月間」に開催されています。

森林整備センターは、出展団体の一つとして森林総合研究所、森林保険センター等とともに法人の概要をPRするとともに、通常開催時に展示ブースで配布していました、「間伐材を利用したうちわ」をフォトコンテストの景品として提供しました。フォトコンテストは6月下旬に結果発表です。

イベントや交流活動について以前のように開催が難しい状況がしばらく続く見込みですが、今回のオンライン開催は一般市民の方に木や森林に親しむ機会を設ける手法として新しい可能性を示すことができましたようです。今後とも従来にない様々なスタイルの交流活動を模索しながら、水源林の重要性についてご理解いただけるよう努めてまいります。



【トップページ】



【森林整備センター概要】



【フォトコンテスト景品】